

なかね 大

一人のために、未来のために！
子どもの命と笑顔を守ります！



令和2年第3回港区議会定例会 が9月7日から10月8日まで開かれ、期間中に行われた令和元年度決算特別委員会での審議も含め、これからの港区政運営についての質疑が行われました。私が地域の声を受け、取り上げた質問の要旨をご紹介します。

防災・減災

防災士の育成について

Q 新たな「港区基本計画」がスタートする来年度以降、防災士の育成についてどのような施策を考えているか

A オンラインを活用した研修会の開催や、地域の防災訓練や防災関連のイベントへの橋渡しなど、育成した1,000名の防災士を実践の場で活かしていくための取組を推進してまいります。



介護福祉施設の防災力強化について

Q 区としても常に防災意識を高めるためどのような取り組みがされているか。また指定管理者が変わる時の備蓄品や避難計画、BCPの引き継ぎはどのように行われるのか

A 施設では、定めた防災マニュアルをもとに防災訓練を毎月実施し、災害時に速やかな地域連携ができる体制の強化にも取り組んでいます。また指定管理者運用マニュアルにもとづき連絡体制や対応方法を一覧にまとめ、施設の安全が確保されるよう、確実に引継ぎを行ってまいります。

高齢者・障害者福祉施設の防災力向上について

Q 福祉施設の運営事業者のBCP策定が遅れている課題に対しどのように取り組んでいけるか

A 計画の策定が進んでいない福祉施設に対しては、港区中小企業向けBCP作成マニュアルを活用した計画策定を働きかけ、必要なアドバイスを行い、早期に策定することができるよう支援してまいります。

高齢者・障害者福祉

認知症高齢者の見守りについて

Q 高齢者等徘徊支援おかえりサポート事業や徘徊探索支援など、今後より良いサービスにつながるよう利用者の声を集約し、事業の拡充や改善につなげるべき

A 徘徊探索支援では、探索機の身体への装着などに課題も確認されているため、今後より詳しい実態の把握に努めてまいります。

若者対策

人口流出を防ぐ施策について

Q 港区は今の人口動態を、特に若年層の流動をどのように捉え、今後どのような施策を講じるべきとお考えか伺う

A 若年層の転出が増えると地域の担い手不足につながりかねないと捉えております。今後、若者の住まいに関する意識や住宅供給市場の実態把握を行い、施策を検討してまいります。

まちづくり

白金台4丁目児童遊園の整備に係る民有地取得について

Q 区民の財産として、積極的にこの民有地の取得と白金台4丁目児童遊園の拡充に取り組んでいただきたい

A 白金台四丁目児童遊園の拡大にあたっては、児童遊園の防犯性や防災性等の調査を加味し、児童遊園の拡大の必要性について、検討してまいります。

日東坂の安全確保の整備について

Q 日東坂の安全強化のための整備を進めていただきたいかがか

A 交通管理者と協力・連携し、地域住民の理解を得ながら、歩行者の歩行位置を示すグリーンバルトの設置や、防護柵の設置等、更なる安全対策を検討してまいります。



教育・子育て

教育格差を是正する取組について

Q 渋谷区ではスタディクーポン事業を行っているが、港区での教育格差を是正するための学習支援の取り組みは

A 経済的困難を抱える家庭の生徒の進路選択を支援するため、中学校3年生を対象に「学びの未来応援学習講座」を開設し、今年度は、週1回の通常の学習講座に加え、10月に新たに生徒が自宅学習や学校で分からなかったことを質問することができる自主学習室を週1回設置し、学習指導のサポート体制を強化する予定です

心の健康を学ぶ授業について

Q ストレスの対処法や心の健康を学ぶ授業の取り組みが必要と考えるが区の見解を伺う

A ストレスの軽減、回避のための呼吸法や軽い運動、心の安定のためのスケジュール管理の方法等について、グループワークを取り入れた体験的な授業を発達の段階に応じて全ての学年において実施し、子どもたちが自らのストレスに適切に対処できる力を育成してまいります。

インクルーシブ教育の取組について

Q 副籍制度を進めてこられた中で、課題として浮かんできた内容を踏まえ、地域指定校間や東京都と連携を密にして、さらに充実した内容としていくことが大切と考えるが

A 現在、都立特別支援学校が主体となり計画を立てており、地域指定校は協力するという姿勢に留まっている現状もあります。今後は地域指定校が、他校の副籍交流の効果的な事例を参考に、授業内容や支援方法等を提案するなど交流内容の改善を図り、障害の有無にかかわらず、共に学ぶことができる環境づくりに努めてまいります。



ひとり親家庭へエンジョイディナー！

区議会公明党はひとり親家庭に対する支援を訴えて参りましたが、区では7月13日から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済的影響の大きい、ひとり親家庭等の家計と家事の負担を軽減し、親子が団らんして栄養バランスの取れた食事の機会を提供するエンジョイ・ディナー事業をスタートさせました。期間は12月25日まで。



給付型奨学金など創設！ 提言で港区奨学金が大きく前進！

区では令和3年4月より国の奨学金制度に区独自の上乗せをし、年収約380万円の世帯まで約142万円の支援を受けられるようにするほか、支援対象の世帯を年収約480万円までと広げました。対象は保護者が区内に住んでいる世帯で、進学者、在学生も対象とし、貸与型奨学金も条件を満たした場合に卒業後6年目以降の返還金を免除とします。



LINEやTwitterなどSNSを活用した情報発信開始！

これまでLINEアカウントを活用し、区のお知らせ等を配信することを検討すべきと提案をしてきました。その結果、10/1より港区LINE公式アカウントを開設し、緊急情報(災害・防災情報など)、イベントやくらしの情報の配信を開始。各総合支所のTwitterによる情報配信も始まっています！



税金・窓口手数料のキャッシュレス決済化！

国を挙げての行政のデジタル化が推し進められていますが、港区議会公明党はいち早く、昨年9月決算特別委員会で区民税などのスマホ決済導入を、今年3月予算特別委員会で窓口手数料のキャッシュレス決済導入を提案し、今年度中に実現の運びに！



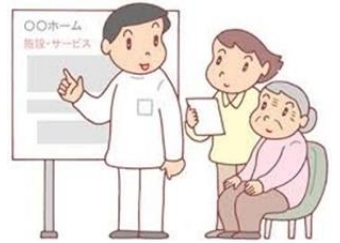
不妊治療費助成のコロナ対応が実現！

国は、新型コロナの感染拡大で不妊治療の延期を余儀なくされるケースを想定し、治療開始時の妻の年齢を「43歳未満」から「44歳未満」に引き上げる措置を時限的に実施しています。港区は、区独自の不妊治療費助成について、来年度より「妻の年齢が43歳未満」との年齢制限を設ける予定でしたが、今年度不妊治療を開始して来年度治療を継続する場合には、国の対応にならい今年度コロナ感染防止の観点から治療を延期した場合に限り、来年度妻が43歳でも助成の対象になりました！



高齢者・障がい者施設への無料PCR検査！

高齢者施設等への公費(全額補助)によるPCR検査体制の構築を求めてきました。その結果、東京都が補正予算として成立した、独自の全額補助による高齢者・障がい者施設等におけるPCR検査対象となる施設等に対して、区は、主体的に実施するPCR検査の費用を助成することや、補助対象外とされる予定の範囲を含め効果的な支援策について早期に検討していくとの答弁を引出すことができました。



港区の情報ってどうやって知ればいいの？



生活する上で、受けたいサービスや、相談できる窓口を知りたいときはどうやって知ることができるの？

港区では、様々な行政サービスや暮らしのお役立ち・イベント情報などを出来るだけ広く皆さんにお知らせしようと取り組んでいます。是非、積極的に活用して頂きたいと思います。

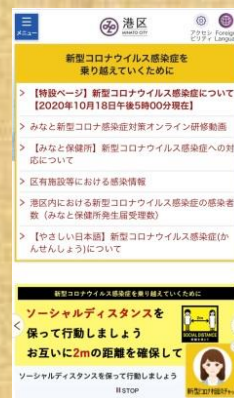


「LINE」を活用したプッシュ型の情報発信をスタートしました。港区のアカウントを友達登録するだけで、利用者それぞれが必要とする情報だけを手軽に受け取ることができます。

広報みなどは、毎月1日、11日、21日に発行され、新聞折り込みや区有施設に置かれているほか、希望する方はご自宅への郵送も行っています！



港区ホームページはパソコンやスマートフォンから閲覧できます！「港区」で検索、もしくはwww.city.minato.tokyo.jpまで



各地区総合支所ではTwitterを活用し、地域情報を発信しています！



港区議会のホームページでは、これまでの本会議や委員会の質疑内容や、提出された請願書・要望書、議員情報など閲覧いただけます。www.gikai.city.minato.tokyo.jpまで